

熊中だより

校長室通信
第 10 号
北九州市立熊西中学校
校長 安部朋恵

平成 30 年度 全国学力・学習状況調査の結果 の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語, 数学, 理科)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

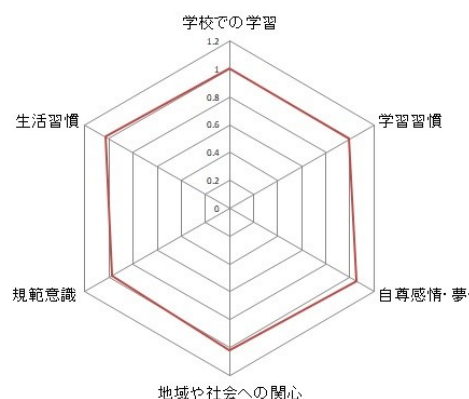
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	どの項目も正答率が高く、全国平均正答率を上回った。特に、『書くこと』『読むこと』の領域についての正答率が高かった。	上回っている
国語B	全国平均正答率を上回った。特に、『話すこと、聞くこと』についての正答率が全国平均正答率を大きく上回った。	上回っている
数学A	全領域の中で、図形領域の問題に関しては、全国平均を上回っているが、関数領域、資料の活用領域の問題の一部に全国平均を下回る設問がみられた。	上回っている
数学B	数と式領域、図形領域の問題に関しては、全国平均を上回っているが、関数領域、資料の活用領域の問題の一部に関しては、全国平均を下回った設問がみられた。	上回っている
理科	全体的に正答率が高く、全国平均正答率を上回っている。しかし、化学的な領域や地学的な領域の問題の一部について課題がみられた。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

「学校での学習」「地域や社会への関心」の項目で昨年度の結果を上回るとともに、ほとんどの項目で全国平均を上回った。

また、朝読書の取り組みや「話し合う活動」と「書く活動」を授業の中に位置づけた取り組み等の昨年度から継続している内容について、徐々に成果が表れてきたと考えられる。

今後は、昨年度の結果を下回った「学習習慣」の一部と「規範意識」の項目について、指導方法を工夫・検討していく。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・「言葉の力」を育むために、話し合う活動と、書く活動を毎時間の授業の中に計画的に位置づけ、授業を行う。
- ・朝の10分間読書を基盤にした、読書活動を推進する。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・熊中ノート(自学ノート)を活用し、家庭学習の時間を確保するとともに、質を充実させていく。
- ・家庭学習を促すため、宿題を課す。また、個別指導を充実させるために、小テストを行い、放課後に補充学習を行う。